



# 図書館だより

No.19

平成27年1月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080

## 祝 今年 成人式を迎える皆さんへ

図書館では、新成人の皆さんにリーフレット「新成人に贈る読書案内」を下記のとおり配布いたします。「新成人に贈る読書案内」では、大人として歩き始める皆さんに、道しるべとしていただきたい本を多数紹介しております。本を選ぶ際の参考に、ぜひご覧ください。本はこころのビタミン剤！

★配付場所：成人式の受付、図書館本館・各分館カウンター

★展示コーナー：図書館本館・各分館にて、紹介している本の展示コーナーを設置しています。（展示期間は1月6日から3月1日まで）  
貸出や予約も受付しておりますのでご利用ください。）



《ほんの一部を紹介します。》



『20代の挫折が人生に奇跡を起こす』 マックス桐島／著 きこ書房

20代にとって「失敗を恐れること自体が最大の失敗」と、多くの大人たちは、自分の若いころを振り返りそう言います。しかし、失敗を恐れず、一歩踏み出すことは誰にとっても難しいもの。この本には著者の実体験を交えながら、失敗を前に進む原動力とし、人生を豊かにするためのヒントが書かれています。大人として新たな人生のスタートを切った今、この本をきっかけに人生を変える20代を過ごしてください。



『20代のための「キャリア」と「仕事」入門』 塩野誠／著 講談社

あなたはもう就職し、社会の一員として働いているでしょうか？それとも、これから就職活動の準備を始める段階でしょうか？今の社会は正規職員、契約社員、アルバイト、フリーランスなど様々な働き方が存在し、今後さらに多様化していくかもしれません。この本は経営コンサルタントをしている著者が、就活生や若手社会人、転職希望者などから受けた相談を例に挙げながら、就職に関する疑問、お金の話、仕事をしていて感じる不満や不安について答えていくものです。今現在働いている人にもこれからの人にも読んでほしい一冊です。

《20年前（1994年）、当時ベストセラーとなった本の中から一部を紹介します。》

ぜひ、こちらも参考にして下さい。

『日本一短い「母」への手紙』 福井県丸岡町／編 大巧社 1994年

短い文にこめられた母への熱い思い。全国から寄せられた多数の手紙文の中から受賞作品を中心にまとめられています。短文につまった様々な人間模様が脳裏に浮かびます。



『「超」整理法・情報検索と発想の新システム』 野口悠紀雄／著 中央公論社 1993年

日々、水増し情報洪水のなかで書類や資料を保存し検索する方法を本書では、一切の分類作業をやめ、使った書類順に並べる、至ってシンプルな整理法を提案しています。インターネット等が普及する現在でもその本質は変わらないものではないでしょうか。



『心に残るとっておきの話・煌く人間群像・珠玉の佳話58篇』 潮文社編集部／編 1993年

心に沁み、胸底を揺さぶる、そんな感動的な話の数々。人間の優しさ、悲しさ、親しさ、厳しさ、そして生きることの深淵をかいまみせる不思議さ・・・しみじみと感じさせる珠玉の佳話集です。



他に『遺書』・『日本をダメにした九人の政治家』・『ねじまき鳥クロニクル』等も愛読されておりました。



# 本館・分館からのお知らせ



## 本館

### 「いるま・こども郷土資料」を

入間市公式ホームページに掲載しています。

入間市の歴史、狭山茶、学校、文化財などについて、図書館マスコットキャラクター「とんちゃん」が、子どもたちに分かりやすく説明しています。子どもたちだけでなく大人も参考になる情報がつまっています。ぜひご覧ください。

(入間市公式ホームページ→施設案内→図書館)のページにあります。

## 金子分館

### ★春のおはなし会 スペシャル★

親子で楽しめるおはなし会です。ミニ絵本も作っていきましょう！

日時 3月7日(土) 11:00~12:00

場所 金子公民館 2階 会議室

内容 絵本や紙芝居の読み聞かせや簡単なミニ絵本作り

協力 読み聞かせボランティアグループ「茶の花」

問い合わせ 金子分館

無料・申込み不要

## 藤沢分館

### ★子ども映画会★ 藤沢公民館共催

日時 2月7日(土) 10:00~11:30

場所 藤沢公民館

内容 アニメ名作シリーズ「シンデレラ」(72分)

定員・入場料 190名・無料(申込み不要)

問い合わせ 藤沢公民館(2962-6475)・藤沢分館

### ★古典朗読会★ ~古典にふれてみよう~

サークル「古典の会」による朗読会です。古典ならではの美しい音の響きと世界観をお楽しみください。

演目 「源氏物語」など ※演目は変更することがあります。

日時 月1回・第2日曜日 14:00~15:00

場所 藤沢分館

定員・入場料 10名程度・無料(申込み不要)

### 蔵書点検に伴う休館のお知らせ

図書館にある全ての資料を点検するため、本館及び分館・配本所では下記の期間、休館いたします。また、移動図書館やまばと号も休止いたします。

ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。なお、図書館公式ホームページはご利用いただけます。(予約はできますが、受け取りは17日以降になります。)

☆休館日 平成27年3月9日(月)~

平成27年3月16日(月)

※3月9日(月)・16日(月)は通常の休館日になります。

## 西武分館

駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。

### ★ウィークエンド・シネマ★

なつかしの名画、見逃したあの映画を、近所の大画面でお楽しみください。

時間 14:00~

無料・申込み不要

場所 西武分館 2階 視聴覚室(定員120名)

◆1月17日(土)「人生、いろどり」(日)

カラー/112分

◇2月 7日(土)「白夜」(伊)

字幕スーパー/白黒/107分

◆2月21日(土)「恋に生きた女ピアフ」(仏)

字幕スーパー/カラー/162分

◇3月 7日(土)「銀の靴」(英)

字幕スーパー/カラー/94分

※都合により変更または、中止になる場合があります。

### ★おとなのための朗読会★

朗読の会「小函」による、おとなのための文学作品の朗読会で、黙読とは、ひとあじ違う楽しさをお届けします。

日時 2月1日(日) 13:30~

場所 西武分館 2階 視聴覚室

作品 宮沢賢治「水仙月の四日」ほか

定員・入場料 120名・無料(申込み不要)

問い合わせ 西武分館

### ★春の子ども映画会★

親子一緒にお散歩がてら、大画面で映画をお楽しみください。

日時 3月27日(金)

10:30~/14:00~(2回上映)

場所 西武分館 2階 視聴覚室

作品 「大決戦!超ウルトラ8兄弟」(97分)

定員・入場料 120名・無料(申込み不要)

問い合わせ 西武分館

### ◀入間市出身の漫画家が活躍中!▶

週刊少年ジャンプに連載中のマンガ「暗殺教室」作者の松井優征さんと「斉木楠雄のΨ難」作者の麻生周一さんは二人とも入間市出身です。

二人の漫画の主人公が共演するコラボ作品『番外編「殺せんせーVS斉木楠雄~入間市最終決戦~」』では、桜山展望台や博物館アリット等が描かれているほか、「いるまんじゅう」という、狭山茶を使った架空の入間市名物が登場しています。

### ◀「いるまんじゅう」架空から実存へ▶

雑誌掲載後、読者から「いるまんじゅう」に関する問い合わせや販売要望等が多く寄せられたため、遂に入間市市章をデザインに生かした「いるまんじゅう」が誕生、販売されることになりました。

問い合わせ 入間市観光協会 2964-4889



# 子ども向けBookがイト



## としょかん ほん 図書館の本



としょかん ほん  
図書館には、あたらしいものからふるいものまでたくさんの本が、あつて、お金を払わずに借りることができます。図書館はいつ、どのようにできたのでしょうか。今回は、図書館の本を集めてみました。

### としょかん ほん ぜん かん 「図書館のすべてがわかる本」全4巻 こどもくらぶ/編 岩崎書店 ヲル《O10》



1巻「図書館のはじまり・うつりかわり」/2巻「図書館の役割を考えてみよう」  
3巻「日本と世界の図書館を見てみよう」/4巻「図書館をもっと活用しよう」

としょかん れきし やく ねんまえ もじ はつめい じだい さいしん としょかん  
図書館の歴史は約5000年前の文字の発明にはじまります。この時代から最新の図書館まで、色々な角度から解説。

\*写真が豊富でわかりやすく、図書館だけでなく歴史に興味がある人にもおすすめです。



### としょかん ほん 「図書館のトリセツ」 福本友美子、江口絵里/著 スギヤマカナヨ/画 講談社 ヲル《O15》

トリセツとは「取り扱い説明書」を略したもの。図書館の本はどんなふうにならんでいるのか？ 検索用コンピュータの使い方やおもしろい本の探し方など、図書館を利用するとき役立つことがたくさん書かれています。

\*図書館の利用について子どもにわかりやすく、ここまで詳しく書かれた本はなかなかありません。

### 「としょかんライオン」 ミシェル・ヌードセン/著 ケビン・ホークス/画 福本友美子/訳 岩崎書店 ヲル《い2》



ライオンは、図書館長のメリウェザーさんに、きまりをまもればいいですよと言われ、毎日やってくるようになりました。おぎょうぎのいいライオンは、すぐみんなとなかよくなりました。ところが、ある日ライオンはきまりをやぶってしまい・・・。

\*時には、決まりを守るより大切なことがあると教えてくれる1冊です。



### としょかん かしわばさちこちよ やまもとようこが こうだんしゃ 「つづきの図書館」 柏葉幸子/著 山本容子/画 講談社 ヲル《かしわ》

図書館司書の桃さんが受けた相談は、本のことではなく、「青田早苗ちゃんのつづきがしりたい」というものでした。本の中の主人公が、読んでくれた人が今どうしているのかが気になり、現実の世界にあらわれてしまったのです。

\*「霧のむこうのふしぎな町」の作者によるユーモアたっぷりのファンタジー。最後は驚きの結末が。大人も楽しめるお話です。

## おはなし会日程



図書館では、子どもたちに本の楽しさを感じてもらうため、絵本・紙芝居の読み聞かせ、手遊び、おりがみなどを「おはなし会」の中で行っています。

申し込みは必要ありません。お気軽にご来場ください！

本館 毎週土曜日 14:00~14:30  
毎週日曜日 14:00~14:30  
祝日 14:00~14:30



金子分館 毎週木曜日 15:30~16:00  
第3木曜日 11:00~11:30  
第3土曜日 14:00~14:30



西武分館



毎週水曜日 11:00~11:30  
第1・2・4・5土曜日 11:00~11:30  
第3土曜日 11:00~11:30

ストーリーテリング (昔話や創作ばなしを本を見ないで  
おはなしします)

藤沢分館



毎週木曜日 11:00~11:30  
第1・3土曜日 11:00~11:30

# 大人のためのBookがっ!

～所蔵55万冊の中から、あなたに合った良書を見つけ出そう!～

こんな本  
しってる?

## 『杖ことば ことわざ力を磨くと逆境に強くなる』

五木 寛之/著 学研パブリッシング ラブル《914.6/ワキ/》

「杖ことば」とは、“ともすれば、しゃがみ込みたくなるようなとき、人生の苦難の旅路を共に歩き、その一步一步を杖となってささえてくれる言葉”をさすのだそうです。

本書は、作家の五木寛之さんが、もう駄目だと思った時に支えられてきた、そのような言葉の数々を紹介したエッセイです。

たとえば、『案ずるより産むが易し』ということわざ。内弁慶だった作者が、子どものころ母親や先生に言われた言葉だそうです。そのやさしい声に背中を押されて一歩を踏み出した記憶が残っているそうです。他にも、『転ばぬ先の杖』や『親しき仲にも礼儀あり』など、よく知られたことわざに関するエピソードが丁寧な言葉で綴られており、そのひとつひとつが心に響きます。

ことわざは、古くから日本に伝わる優しくとも力強いメッセージです。あなたも、自分だけの杖ことばを探してみませんか。それは、迷ったときの心の拠り所となってくれるはずです。



## 『吉田松陰名言集 思えば得るあり学べば為すあり』 八幡和郎/監修 宝島社 ラブル《289/ヨ/》

2015年のNHK大河ドラマの主人公杉文(すぎ ふみ)の兄、吉田寅次郎こと吉田松陰は、30歳という短い生涯ながら、高杉晋作や伊藤博文など幕末・明治の歴史を動かした人物たちに大きな影響を与えた思想家として知られています。しかし松陰が具体的にどのような思想・言葉を残したのか、あなたは知っていますか?

松陰が知人や門下生に宛てた手紙などに残された言葉の中から、現代に生きる我々に知ってほしい100の名言を集めた一冊。新たな年を迎え、心機一転、何かにチャレンジしたいと考えているあなたの背中を押してくれます。



## 『ありがたい神社の歩き方、神様の見つけ方 なんでもベスト10』 戸部民夫/著 芸術新聞社 ラブル《175/ト/》

正月三が日には、神社へ初詣に行った方も多いのではないのでしょうか。明治神宮では毎年300万人以上と、日本一多くの参拝客が訪れるそうですが、では2番目・3番目に多い神社はどこか、ご存知ですか?また神社には飛行機の神社、自動車の神社、果ては泥棒の神社まで存在するなど、まだまだ私たちの知らない世界が広がっています。この本はそんな知られざる神社のあらゆる事柄をベストテン形式にまとめました。後半には祈願したい内容から神社を探す「目的別 神社祭神のご利益」も掲載されているので、2015年は神社・パワースポット巡りなどしてみるのも面白いかもしれませんね。



## 『初女さんの心を結ぶ「分かち合い」』 佐藤初女/著 主婦の友社 ラブル《914.6/サトウ/》

青森県で、「森のイスキア」という、悩みや問題を抱えた人たちを受け入れ痛みを分かち合う癒しの場を主宰する著者のエッセイ集です。「イスキア」には様々な悩みを抱えた人がやってきますが、著者は一緒に食事をして話を聞くことによって、自然に問題が解決されると記しています。

この本は、「イスキア」の活動の中で出た質問への答えをまとめてあります。90歳を超える著者の言葉には、説得力・包容力があります。「食の大切さ」、「今を生きること」、「人と人との関わり」など、私たちに気づかせてくれるものがたくさん盛り込まれている一冊です。「生き方」を考えるきっかけに、読んでみてはいかがでしょうか。



～いつもご愛読いただきありがとうございます～

『図書館だより』は、年4回(7月→10月→1月→4月)発行しております。毎号読んでくださった皆様に粗品を進呈しております。(品物は雑誌等の付録です。)

ご愛読  
キャンペーンの  
お知らせ

応募券

H27.1

貼付

ご希望の方は『図書館だより』各号の最終ページにある応募券を切り取り、7月号の台紙に貼り、図書館カウンター(本館・分館)へお持ちください。応募多数の場合には、抽選とさせていただきます。当選された方には別途通知させていただきます。※ お一人様1枚限りのご応募とさせていただきます。※ また、小学生未満のお子様名義によるご応募も受け付け出来ません。※ お客様の個人情報はこのキャンペーンのみに利用し、他の目的には一切利用しません。